



3月15日、アジア最大級のクルーズ船「クアンタム・オブ・ザ・シーズ」が鹿児島港のマリンポートかごしまに初めて寄港しました。船は16階建てで、その大きさは全長347メートル、乗客定員4180人、総トン数16万8666トンと、これまで鹿児島に寄港した船の中で最大のものです。近年、クルーズ船の寄港数は飛躍的に増加しており、地域の観光業や農林水産業などを活用する新たな産業創出のチャンスとして注目されています。

鹿児島をもっと元気にするため、県では鹿児島港の7つの港区のうち、中央港区「マリンポートかごしま」と本港区「北ふ頭」で、国際クルーズ船を受け入れるための整備を進めています。

世界とつながり 鹿児島が変わる KAGOSHIMA PORT



「クアンタム・オブ・ザ・シーズ」から降り立ち、市街地へ向かう乗客（マリンポートかごしま）

「クアンタム・オブ・ザ・シーズ」船内の様子



マリンポートかごしまに寄港した「クアンタム・オブ・ザ・シーズ」



スポーツ施設



室内プール



クマの巨大オブジェ



エレベーターホール



カジノ



ショッピングアーケード



シアタールーム

3 アクセスの向上を図る臨港道路(鴨池中央港区線)

現在、臨港道路(鴨池中央港区線)の整備を進めています。臨港道路が整備されると、港湾物流の円滑化や周辺道路の渋滞緩和が図られ、鹿児島市中心部と南薩地域とのアクセスが向上します。これにより、移動時間が短縮されることから、農業や観光産業などの経済活性化や、急患搬送時の救急医療体制の充実に役立つなど、大きな効果が期待されます。



2 国内トップクラス 世界最大級のクルーズ船に対応する岸壁

県と世界第2位のクルーズ船社「ロイヤル・カリビアン社」が連携し、「官民連携による国際クルーズ拠点形成する港湾」として国に選定され、県が同社に岸壁の優先的な使用を認める代わりに、同社が旅客ターミナルなどを整備することとなりました。また、「世界最大の22万トン級のクルーズ船が接岸できる新たな岸壁の整備」が国の直轄事業として新規採択されました。新たな岸壁の整備により、16万トン級と22万トン級の大型クルーズ船が2隻同時に並んで接岸できる日本初のクルーズ専用ターミナルとなり、寄港数のさらなる増加が期待されます。

22万トン級対応:延長410m

1 受け入れをスムーズにかごしまクルーズターミナル

4月7日、税関や出入国管理、検疫機能などを備えた「かごしまクルーズターミナル」がオープンしました。これまで船内で行っていた入国手続きなどの迅速化・円滑化が図られ、乗客はより長い時間観光を楽しめるようになり、利便性が高まります。



新しいターミナル
観光案内を拡張し、特産品を販売するスペースを設けるなど、情報発信やおもてなしも充実。



16万トン級対応:延長340m

生まれ変わる Kagoshima Port

※整備が進むマリポートかごしま



北ふ頭に初寄港した「ロストラル」

鹿兒島港は、桜島や錦江湾などの美しい景観や、地理的な寄港のしやすさなどから、多くの国際クルーズ船社から寄港の希望が寄せられています。

そこで、鹿兒島港の北ふ頭でも国際クルーズ船を受け入れられるよう、保安対策用のフェンスを設置するなど、整備を行いました。

4月13日、国際クルーズ船として初めて「ロストラル」(フランス)が北ふ頭に寄港し、県民や観光客が初寄港の記念イベントに参加しました。

北ふ頭は天文館(繁華街)へのアクセスもよく、外国人観光客の増加による地域活性化が期待されており、今後おむね5万トン級の船も接岸できるよう、さらに整備を進めていく予定です。

国際クルーズ船の受け入れは 鹿兒島港北ふ頭でも

5年で5倍に!

鹿兒島港のクルーズ船の寄港数



鹿兒島のクルーズ船寄港数は、近年飛躍的に伸びています。昨年は県全体で153回、このうち鹿兒島港は108回と、いずれも過去最高を記録しました。

県では、クルーズ船の寄港数の増加や大型化に対応し、より多くのクルーズ船を迎え入れるため、環境整備を進めています。昨年度は、マリポートかごしまの岸壁を改良し、16万トン級のクルーズ船まで受け入れることができました。

より多くのクルーズ船を迎え入れて 鹿兒島を元気にするために

日本発着のクルーズ旅行

人気が高まっているクルーズ旅行。クルーズ船に乗ったことがない方も、船ならではの魅力を知ればきっと興味が湧いてくるはず。

ダイヤモンド・プリンセス



日本語サービス、展望大浴場や日本食など、日本のお客様向けのサービスが充実しています。外国客船の国際的な雰囲気と共に、「日本の美」を再発見するクルーズをお楽しみください。

初秋めぐり東北・北海道、九州と韓国クルーズ

9月4日(火)～12日(水)
横浜～石巻～函館～秋田～釜山(韓国)～鹿児島～横浜
¥118,000円～ お近くの旅行会社まで

にっぽん丸



小さな船体だからこそ訪れることのできるユニークな寄港地や、多彩な「テーマのあるクルーズ」をお楽しみいただけます。日本の伝統ある客船会社ならではの温かいおもてなしをお楽しみください。

にっぽん丸紀行

9月19日(水)～21日(金)
横浜～津～横浜
¥105,000円～
0120-791-211

「飛鳥II」



日本船籍最大の客船で、約100日間の世界一周クルーズや日南の花火といった日本の夏祭りを巡るクルーズなど、さまざまなコースがあります。客室は全室海側で、ゆったりとしたスペースや多彩な食事などが特徴です。

秋の九州・隠岐クルーズ(Cコース)

10月2日(火)～5日(金)
博多～隠岐・島前～長崎～鹿児島
¥126,000円～
045-640-5301

コスタ ネオロマンチカ



イタリアの老舗が誘う、憧れの「海の上での休日」をお楽しみいただけます。お部屋の豪華さはもちろん、質の高いエンターテインメントなどをご用意した上で、初めての方でも気軽に船旅を体験いただけます。

お気軽日本海ショートクルーズと釜山

7月10日(火)～13日(金)
福岡～京都舞鶴～金沢～釜山(韓国)～福岡
¥72,800円～
お近くの旅行会社まで

ばしふいっくびいなす



初めての方でも安心してご乗船いただけるよう、親しみやすいサービスと日本船ならではの和食の充実やエンターテインメントを提供。島めぐりのクルーズも多く設定しています。

初秋の隠岐島・京都舞鶴クルーズ

9月12日(水)～14日(金)
博多～隠岐島～京都舞鶴
¥70,000円～
0120-017-383

鹿児島からKAGOSHIMAへ



マリポートかごしま



お土産を購入する乗客の方々

クルーズ船の乗客が、寄港地で観光、食事、ショッピングなどをすることで、その経済効果は一人当たり3〜4万円と試算されています。また、直接的な効果だけではなく、さまざまなクルーズ船が寄港することにより、世界各国に「KAGOSHIMA」の地名がPRされることとなります。

今後、ますますクルーズ船の寄港が増加すること、国際的な観光都市としての鹿児島の知名度がどんどん高まり、経済効果も一層大きくなっていくことが期待されます。

世界とつながりにぎわうまちへ

島の取り組み

豊富な観光資源をクルーズ船社や旅行会社に売り込むとともに、鹿児島にいらっしゃった乗客の方を丁寧な観光案内やおもてなしでお迎えし、何度でも来なくなるまち、鹿児島を体感していただいています。

おもてなしの様子



焼酎のウェルカムドリンク



着物体験

マリポートかごしまに行ってみよう!

1 クルーズ船を見る

〈今後の寄港予定〉詳しくは県ホームページをご覧ください。

5月							6月						
月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
	1	2	3	4	5	6					1	2	3
7	8	9	10	11	12	13	4	5	6	7	8	9	10
14	15	16	17	18	19	20	11	12	13	14	15	16	17
21	22	23	24	25	26	27	18	19	20	21	22	23	24
28	29	30	31				25	26	27	28	29	30	

現在の
おもてなし隊員数は
約2,000人!



2 親水広場で水遊び

利用時間 午前9:00～午後5:00

利用期間 7月:7月1日～土日祝、7月21日～毎日
8月:毎日
9月:土日祝のみ



おもてなし隊に参加してみよう!

クルーズ船の乗客を温かく歓迎する鹿児島港クルーズ船おもてなし隊。興味をお持ちの方は、クルーズ船寄港時にマリポートかごしま「かごしまクルーズターミナル」内、観光案内カウンターにお問い合わせください。

マリポートかごしま

【開園時間】5月～6月/午前6:00～午後8:00
7月～8月/午前6:00～午後9:00

【住所】鹿児島市中央港新町